



さいたま市立芝原小学校  
さいたま市緑区芝原2丁目5番地  
TEL 873-4133 FAX 810-1123  
Web <http://shibahara-e.saitama-city.ed.jp>

## 心に残る〇〇、ありますか？

校長 吉岡 貴和

早いもので、あと二十日余りで1学期が終わります。児童が育てているアサガオは立派な花を咲かせ始め、毎日水をあげている野菜にはおいしそうな実がついています。芝原っ子の皆さんも植物の成長に負けないように、今学期のまとめに取り組み、花や実をつけて欲しいと思います。令和3年度の夏休みは7月21日から始まります。オリンピックやパラリンピックも開催の予定ですが、自分のため、身の回りの大切な人たちのために、まだまだ我慢や制約の多い夏休みかもしれません。でもそんな時だからこそ、「さあこの夏休み、何をしようか！」と自分の目標や楽しみをもって、終業式を迎えましょう。

さて私は昭和47年の小学校入学から、50年近く「学校」へ通っています。これは先生という職業に就いたため、普通の人ならば長くても学校へ通うのは20年くらいでしょうか。ですから私は夏休みも50回経験している事になります。ほとんどの夏休みは何も覚えていないのですが、「そういえば小学校最後の6年生の夏休みにはあんなことがあったなー」「高校2年生の夏はこんな所に行ったっけ」と時折思い出す**心に残る夏休み**もあります。児童の皆さん、保護者の皆さんはいかがでしょう。子どもと大人でそのような話をするのも、お互いが知らなかった相手の一面を知ることのできる良い機会でしょう。

また、そのような心に残る場面には、**心に残る音楽**もセットになって記憶されていることが私にはよくあります。その時、その時で自分がよく口ずさんでいた曲がふっとよみがえったり最近になって令和のミュージシャンがその曲をカバーしてびっくりしたり。

最近の小学生はあまりなじみがないと思いますが、人生の大ベテランの皆さんの**心に残る歌**の1つに学校で習った「案山子」という文部省唱歌があります。

作詞をした武笠三は三室出身の教育者で、およそ110年前に教科書の歌集を編集する仕事をしていました。芝原小学校の学区近くにはその発祥の地、「見沼氷川公園」があり、先月は1年生が校外学習で訪れていました。案山子の像があり、緑豊かな整備された気持ちの良い公園です。夏休みにでも親子で出掛けてみてはいかがでしょうか。でしようか。(山田の中の～という歌です。知ってるかな?)



案山子像



今年の夏、皆さんに**心に残る思い出**ができ、2学期元気にその思い出と一緒に登校してくる笑顔を、今から楽しみにしています。